

## 男鹿半島の海藻

今野 郁\*

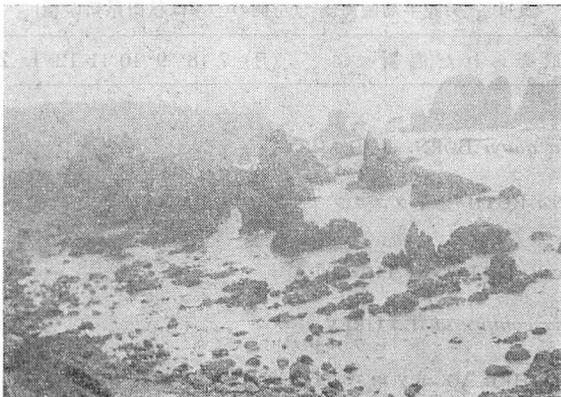
K. KONNO: On the marine algae from the coast of  
Oga Peninsula facing the Japan Sea.

男鹿半島は、秋田県沿岸中央部稍々北寄りの島が米代川および雄物川からの砂礫によって本土と連絡した陸繋島で、外海側一帯は出入の多い岩礁地帯からなり、海藻の生育は良好であった。

この地の海藻については、加藤<sup>1)</sup>により藍藻 1, 緑藻 12, 褐藻 22, 紅藻 34, 計 69 種, 同じく加藤<sup>2)</sup>により藍藻 1, 緑藻 14, 褐藻 25, 紅藻 38, 計 78 種, そして金森<sup>3)</sup>により若干種が扱われ, この半島としては藍藻 1, 緑藻 15, 褐藻 28, 紅藻 41, 総数 85 種が明らかにされている。

著者は、恩師新潟大学理学部野田光蔵教授の指導の下に秋田県沿岸の海藻の調査<sup>4)</sup>を続けているが、その一環として同半島の門前、入道崎の調査を行なった。両地は半島の突端部において海流の影響を最も受けやすい位置にあり、地質学的には第三紀中新世初期の火成活動による男鹿半島の代表的海岸である。

門前では、1970年7, 9, 11, 1971年1, 3, 5の各月、入道崎では1970年8, 10, 12,



第1図 入道崎海岸 (雨天の日)

\* 秋田県立横手東高等学校 (横手市南町2番1号)

The Bulletin of Japanese Society of Phycology, Vol. XXI, No. 1, 1-11, Apr. 1973.



採取せられた海藻	(月)	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
<i>Ulva pertusa</i> KJELLMAN アナアオサ		○	○	○	○	○	○	・	○	・	・	○	・
<i>Monostroma arcticum</i> WITTRÖCK キタヒトエグサ		・	・	・	・	・	・	○	○	・	○	・	・
<i>M. grevillei</i> (THURET) WITTRÖCK ウスヒトエグサ		・	・	・	・	・	・	・	・	○	・	・	・
<i>M. undulatum</i> var. <i>farlowii</i> FOSLIE ヒダヒトエグサ		・	・	・	・	・	・	・	・	○	・	・	・
○ <i>Chaetomorpha aerea</i> (DILLWYN) KÜTZ. タルガタジュズモ		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	○	・
<i>C. moniligera</i> KJELLMAN タマジユズモ		○	・	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・
<i>Cladophora densa</i> HARVEY アサミドリシオグサ		・	・	・	・	・	・	・	・	○	・	・	・
<i>C. fascicularis</i> (MERT.) KÜTZING フサシオグサ		・	○	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・
<i>C. japonica</i> YAMADA オオシオグサ		・	○	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・
<i>C. opaca</i> SAKAI ツヤナンシオグサ		○	・	・	・	・	・	・	・	・	○	○	・
<i>C. rudolphiana</i> (AG.) HARV. タマリシオグサ		・	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
○ <i>C. rupestris</i> KÜTZ. f. <i>submarina</i> FOSLIE イワシオグサ		・	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
<i>C. stimpsonii</i> HARVEY キスシオグサ		・	・	○	○	・	・	○	・	・	・	・	・
<i>Bryopsis hypnoides</i> LAMOUROUX オバナハネモ		○	○	○	・	・	・	○	・	・	・	・	・
<i>Caulerpa okamurai</i> WEBER van BOSSE フサイワヅタ		○	○	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・
<i>Codium adhaerens</i> (CABRERA) C. AGARDH ハイミル		○	○	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・
<i>C. fragile</i> (SURINGAR) HARIOT ミル		○	○	○	・	・	・	○	・	・	・	・	・
褐藻 (38)													
○ <i>Ectocarpus filamentous</i> NODA しおみどろの一種		・	・	・	・	○	・	・	・	・	・	・	・
○ <i>E. monzensis</i> NODA et KONNO しおみどろの一種		・	・	・	・	・	・	○	・	・	・	・	・
<i>Sphacelaria iwagasakensis</i> NODA くろがしらの一種		・	・	・	・	・	○	・	・	・	・	・	・
<i>Dictyopteris prolifera</i> OKAMURA ヘラヤハズ		○	○	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・
<i>D. undulata</i> (HOLMES) OKAMURA シワヤハズ		○	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
○ <i>Dictyota cervicornis</i> KÜTZING あみじぐさの一種		○	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
<i>D. divaricata</i> LAMOUROUX カズノアミジ		○	○	・	・	○	・	○	・	・	・	・	・

採取せられた海藻	(月)	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
<i>D. flabellata</i> SETCHELL and GARDNER		.	.	○	.	.	.	.	.	.	.	.	.
<i>Dilophus marginatus</i> OKAMURA フクリンアミジ		.	.	.	.	.	.	○	.	.	.	.	.
<i>Padina crassa</i> YAMADA コナウミウチワ		○	○	○	.	.	.	.	.	.	.	.	.
<i>P. japonica</i> YAMADA オキナウチワ		.	.	.	.	○	.	.	.	.	.	.	.
○ <i>Chlanidophora repens</i> OKAMURA フタエオウギ		.	○	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
<i>Leathesia difformis</i> (L.) ARESCHOUG ネバリモ		○	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	○
<i>Papenfussiella kuromo</i> (YENDO) INAGAKI クロモ		○	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
<i>Sphaerotrichia divaricata</i> KYLIN イシモズク		○	○	○	.	.	.	.	.	.	.	.	.
○ <i>Acrothrix pacifica</i> OKAMURA et YAMADA ニセモズク		○	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
<i>Desmarestia viridis</i> (MÜLL.) LAMOUR. ケウルシグサ		○	.	.	.	.	.	.	.	.	○	○	○
<i>Punctaria latifolia</i> GREVILLE ハバモドキ		○	.	.	.	.	.	.	.	○	○	○	○
<i>Colpomenia sinuosa</i> (ROTH) DERB. et SOL. フクロノリ		○	○	.	.	.	○	○	○	○	○	○	○
○ <i>Hydroclathrus clathratus</i> (BORY) HOWE カゴメノリ		.	○	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
<i>Petalonia fascia</i> (MÜLLER) KUNTZE セイヨウハバノリ		.	.	.	.	.	.	○	.	.	.	.	.
<i>Scytosiphon lomentaria</i> (LYNGBYE) LINK カヤモノリ		.	.	.	.	.	.	○	.	○	○	○	.
<i>Chorda filum</i> (L.) LAMOUROUX ツルモ		○	○	.	○	○	.	.	.	.	.	.	○
<i>Ecklonia stolonifera</i> OKAMURA ツルアラメ		○	○	○	○	○	○	○	○	.	.	.	.
<i>Undaria pinnatifida</i> (HARVEY) SURINGAR ワカメ		○	.	.	.	.	.	.	.	.	○	○	○
<i>Coccolophora langsdorfi</i> (TURNER) GREV. スギモク		.	.	.	○	.	.	.	○	.	.	.	.
<i>Cystophyllum caespitosum</i> YENDO カイフモク		.	.	○	○	.	○	.	.	.	.	.	.
<i>Sargassum confusum</i> C. AGARDH フシスジモク		○	○	○	.	○	○	.	.	.	.	.	.
<i>S. enerve</i> C. AGARDH ホンダワラ		.	○	○	○	○	○	.	.	.	.	.	.
<i>S. hemiphyllum</i> C. AGARDH イソモク		.	○	○	.	○	.	.	.	.	.	.	.
<i>S. horneri</i> C. AGARDH アカモク		.	○	.	○	○	○	.	.	.	.	.	.
<i>S. micracanthum</i> (KÜTZING) YENDO トゲモク		○	○	○	.	.	.	○	.	.	.	.	.







表 2. 男鹿半島海岸における採集種数

海 藻 群	種 数	門 前	入 道 崎
藍 藻 類	2	1	2
緑 藻 類	24	20	17
褐 藻 類	38	33	27
紅 藻 類	79	62	55
計	143	116	101

表 3. 男鹿半島産海藻の月別採集種数

(奇数の月は門前, 偶数の月は入道山崎)

海 藻 群 月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
藍 藻 類		2			1		1					
緑 藻 類	9	11	10	3	2	3	5	2	5	3	4	1
褐 藻 類	18	19	14	12	15	10	9	3	5	6	6	5
紀 藻 類	31	25	29	6	10	14	26	12	6	16	13	9
計	58	57	53	21	28	27	41	17	16	25	23	15

表 4. 男鹿半島産海藻採集状況及び秋田県新産種数

海 藻 群	門前のみ	入道崎のみ	共 通	計	秋 田 県 新産種数
藍 藻 類		1	1	2	1
緑 藻 類	7	4	13	24	4
褐 藻 類	11	5	22	38	7
紀 藻 類	24	17	38	79	23
計	42	27	74	143	35

本調査により、秋田県海藻誌に新たに 35 種を追加することになった。また本調査によって得られた二、三の興味ある種について述べる。

1. *Ectocarpus filamentosus* NODA

Some Marine Algae collected on the coast of Iwagasaki, Prov. Echigo facing the Japan Sea. Sci. Rep. Niigata Univ. Ser. D (Biol. no. 7: p. 27 fig. 2 (1970).

綿毛状で密に巻錯し、他の藻体からまり比較的大きな団塊となる。細胞は長さ 46-68  $\mu$ 、径 23-30  $\mu$ 、分岐は少なく、分枝は短かく、1-5 細胞よりなり直角に近い角度で生ずる。単子嚢は楕円形、長さ 82-85  $\mu$ 、幅 36-43  $\mu$ 、無柄。

本種は *Ectocarpus tomentosus* LYNGBYE に近縁の種である。

(新種)

2. *Ectocarpus monzensis* NODA et KONNO

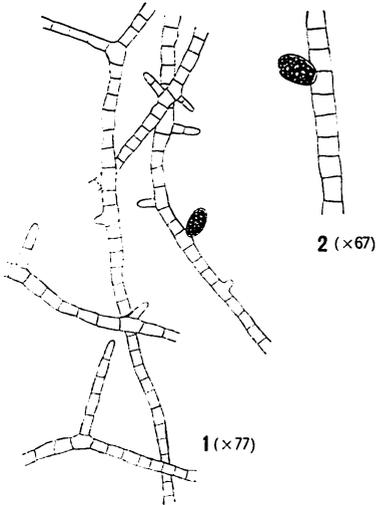
糸状体は叢生し、高さ 2-3 cm、基部付近より生ずる仮根により着生、直立する。細胞は長さが幅の 1-2 倍 (下部の細胞長さ 42-80  $\mu$ 、幅 42-50  $\mu$ 、上部では 27-76  $\mu$  × 27-38  $\mu$ ) で長さは幅の 1-2 倍あり、上部において扁生的に分枝し、小枝は先端に向って鋭く尖る。複子嚢は長楕円状で長さ 107-118  $\mu$ 、幅 32-36  $\mu$ 。

本種はムラサキガイ、岩などに着生していたものを昭和 46 年 1 月 27 日採取した。本種は *Ectocarpus mitchellae* HARV. に外観類似するが小枝が細く尖ることで異なる。新種として記載 (新潟大学理学部研究報告 Ser. D No. 10 p. 29 fig. 1, 1973 に掲載)。

3. *Dictyota cervicornis* KÜTZING

"Tab. Phyc. 9 t. 24 fig. 2 (1895)"; Noda, M. Sp. Dictyotac. fr. Sado Isl. p. 30 fig. 2 (1969).

体は叢生し、高さ 10-15 cm、互にもつ



1. 体の一部 2. 単子嚢

第 3 図 *Ectocarpus filamentosus* NODA



1. 全形 2. 体的一部分、複子嚢  
3. 基部、仮根

第 4 図 *Ectocarpus monzensis* NODA et KONNO

れ、軟弱にしてよじれる。幅は狭く、2-3 mm、厚さ95-114  $\mu$ とすく、縁辺部は幾分厚くなり、皮層細胞は2層をなすところがあり、枝は叉状に分岐し、上部の枝の腋部は広く、先端は円い。

4. *Polysiphonia akkeshiensis* SEGI アッケシイトグサ

*Polysiphonia* fr. Jap. p. 232 pl. 9 fig. 1-3 text-fig. 23-24 (1951).

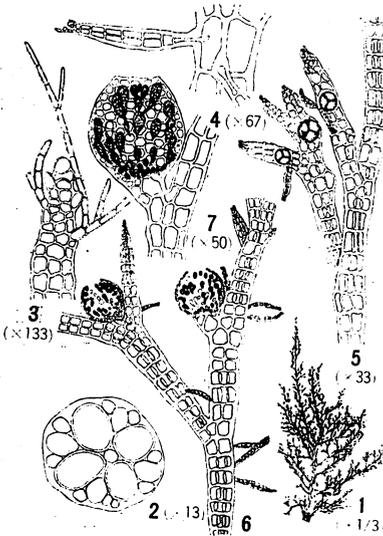
秋田産のものは小島産の標本と一致し、高さ5-14 cm、主軸明瞭、叢生、岩礁に着生。枝は互生状に再三分岐し、体上には至るところから多数の毛状の短枝を生ず。周心細胞は4、若干の皮層細胞を有す、四分孢子嚢は最末小枝に小數生じ、嚢果は広卵形、径342-456  $\mu$ 、未成熟のものは卵形または楕円形を呈す。

5. *Polysiphonia decumbens* SEGI リボンイトグサ

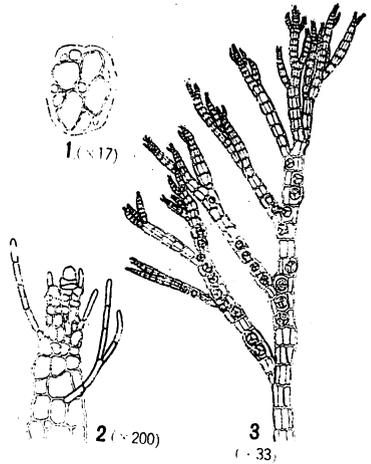
*Polysiphonia* fr. Jap. p. 218 pl. 7 fig. 2 text-fig. 17-18 (1951).



1. 全形 2. 横断面  
第5図 *Dictyota cervicornis* KÜTZING



1. 全形 2. 横断面 (下部) 3. 先端部  
4. 短枝 5. 四分孢子嚢 6. 7. 嚢果  
第6図 *Polysiphonia akkeshiensis* SEGI



1. 横断面 (下部) 2. 先端部  
3. 藻体上部、四分孢子嚢  
第7図 *Polysiphonia decumbens* SEGI

単独、他の海藻上に着生、矮形にして長さ約 2 cm、基部より匍匐し、糸状体は径 539-616  $\mu$ 、不規則に又状様分枝し、上方では少々扁生的に出る。周心細胞は 4、若干の皮層細胞を有す、四分孢子囊は最末小枝上に一列に数個乃至 10 個生じ、径 45-70  $\mu$ 。

### Summary

Continuing on the first report of marine floral study of Akita Prefecture the present author made more investigations on the coast of Oga Peninsula. As the result 143 species were identified, of which 35 species were newly added to the marine flora of Akita Prefecture, and some new knowledges also were obtained from a distributional point of view.

### 引用文献

- 1) 加藤君雄・加藤鉄也 (1963): 秋田県及び青森県南部沿岸産の海藻目録. 藻類, 11: 62-70.
- 2) 加藤鉄也 (1967): 海藻類, 秋田県郷土教育資料, 秋田県教育研究所研究 No. 90: 89-98.
- 3) 金森 武 (1971): 東北地方日本海沿岸、飛鳥及び佐渡ヶ島の海藻群落. 藻類, 19: 28-33.
- 4) 今野 郁 (1971): 岩館の海藻, 藻類, 19: 44-50.